

○水生生物モニタリング調査結果一覧（猪苗代湖（北岸）I・猪苗代湖（南岸）J）

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
調査地点	○	○	○	○	○	○
J-1	○	○	○	○	○	○

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)
J-1 (表層)	37.4203°	140.1008°	R3.10.18	14:18	15:02	18.2	17.7	砂	7.5Y5/3	貝、セキショウモ	3.0	>3.0
J-1 (下層)						17.8						

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
J-1 (表層)	37.4203°	140.1008°	R3.10.18	14:18	7.3	<0.5	1.6	9.4	11.5	0.06	0.8	<1	0.4	N. D. (0.0014)	0.0054	—
J-1 (下層)					7.0	<0.5	2.2	9.8	11.8	0.06	1.0	<1	0.6	N. D. (0.0014)	0.0055	0.00069

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)				
											調査地点	J-1	37.4203°	140.1008°	R3.10.18	15:02	6.6	390				24.1

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
I-1 I-2 (北岸)	湖内 および 長瀬川	37.5047° 37.4995°	140.1143° 140.1409°	R3.10.17	節足動物	軟甲	エビ	ザリガニ	<i>Pacifastacus leniusculus trowbridgii</i>	ウチダザリガニ	7	0.13	未成体/成体	—	—	12	N. D. (0.65)	12	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Salvelinus leucomaenis</i>	イワナ	1	0.55	成魚	空胃	内臓除去	22	N. D. (1.4)	22	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius kurodai</i>	トウヨシノボリ	51	0.021	未成魚/成魚	—	—	2.4	N. D. (1.4)	2.4	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius sp.</i>	ヨシノボリ属									
J-1 (南岸)	湖内 および 鬼沼周辺	37.4203°	140.1008°	R3.10.18	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.0068	—	—	N. D.	N. D. (4.7)	N. D. (2.6)	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	3	0.021	未成魚	—	—	10	N. D. (2.1)	10	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	1	0.014	成魚	—	—	5.5	N. D. (2.3)	5.5	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サブリヤシユ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル	4	0.052	未成魚	—	—	7.9	N. D. (1.8)	7.9	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。